

八潮市協働のまちづくり推進事業助成金実績一覧

年度	団体名	事業の名称	実施日	場 所	事業申請			実績報告		
					予算額	事業概要	助成金 交付決定額	決算額	助成金 交付確定額	事業の成果
04	つながるネットワーク八潮	防災の視点から考える地域づくり～クロスロードゲームで人と人をつなぐ地域の防災活動～	令和4年12月18日(日)	やしお生涯学習館 多目的ホール	66,000	<p>■目的 「要援護者の避難」をキーワードに地域にある様々な課題を解決する</p> <p>■内容 1)基調講演 「いざというときのために助け合える要援護者支援とは」 2)グループワーク 「クロスロード・ゲーム～みんなで考える防災ゲーム～」</p>	44,000	53,028	35,000	<p>■目的 「要援護者の避難」をキーワードに地域にある様々な課題を解決する</p> <p>■開催日時 令和4年12月18日(日) 14:00～16:30</p> <p>■開催場所 やしお生涯学習館多目的ホール</p> <p>■内容 1)基調講演 「いざというときのために助け合える要援護者支援とは」 (講師:横浜市立大学国際教養学部 石川永子准教授) 2)グループワーク 「クロスロード・ゲーム～みんなで考える防災ゲーム～」</p> <p>■参加者数 28人</p> <p>■事業の成果(一部抜粋) 町会・自治会など地縁組織の弱体化が指摘される中、推進が遅れている「災害時の要援護者支援計画」などの行政施策を具体的に進めるには、行政任せにはしない市民意識の向上が必要ですが、避難経路の検討、改善策など地域のルールを行政、自治会、住民が一体となって策定するための話し合いの場が、日常的に必要なであると認識するに至った。</p>
	子ども応援団・結	簡易的な街並みを用いた体験型安全教室	令和4年10月10日(月・祝)	八潮メセナ・アネックス 多目的ホール(A・B・C)	80,000	<p>■目的 子ども自身が自分を守る力をつけるため</p> <p>■内容 簡易的な街並みを用いた体験型安全教室</p>	50,000	77,342	50,000	<p>■目的 (1)体験型安全教室を開催し、市民に体験型安全教室を知らせること (2)体験型安全教室を開催し、市民の防犯意識を高める。特にまだ力の弱い児童の防犯力の向上を目指す。</p> <p>■開催日時 令和4年10月10日(月・祝) 1部 10:30～12:00 2部 13:30～15:00</p> <p>■開催場所 八潮メセナ・アネックス 多目的ホール(A・B・C)</p> <p>■内容 簡易的な街並みを用いた体験型安全教室</p> <p>■参加者数 親子30組</p> <p>■参加者の意見等(一部抜粋) ・子どもに言葉で伝えていたことを、身体を使って体験できたことが良かった。 ・まだ子どもが幼く理解できているか不安なので、年に1回くらい受講したい。 ・わかりやすく体験できてよかった。どんな子どもの発言も否定せず「そうだよね、それもいいね」と受け入れてくださったことが好印象で、すごく参加意欲につながったと思います。また参加したいです。</p>